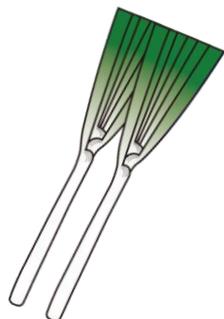


ベストマッチ® 白ネギ用366

23-6-6-Mg1

白ネギ用366は、化成肥料と2種類の被覆肥料を配合し、秋冬どり・初夏どりなどの作型に応じて、幅広く使い分けができる肥料です。



N	窒素（化成）	0.8 kg
	窒素（被覆）	3.8 kg
P	りん酸（化成）	1.2 kg
K	加里（化成）	1.2 kg
Mg	苦土（化成）	0.2 kg

（1袋20kgあたり）

特長

秋冬どり：8月下旬～9月に追肥をする、12～2月収穫の白ネギに好適です。

秋冬どりの白ネギでは、夏期の酷暑のため、施肥を控える地域もあります。その場合、8月下旬以降に追肥を行い収穫期まで肥効が持続するように施肥することが必要です。

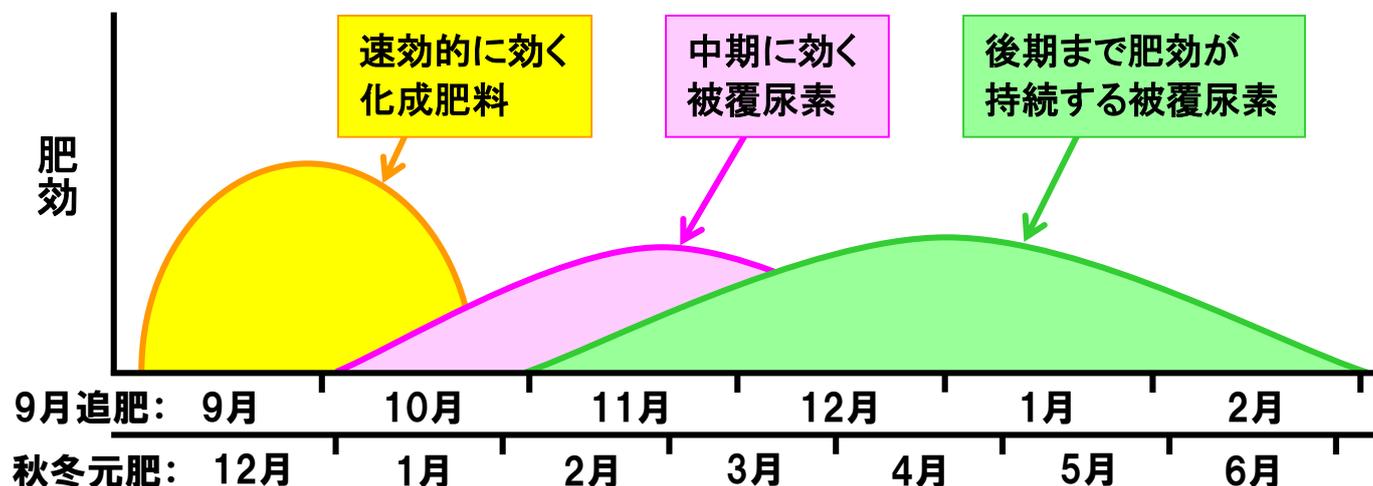
白ネギ用366は、8月下旬～9月に土寄せを始める前の1回だけの施用で、収穫期まで穏やかな肥効が切れ目なく持続します。

初夏どり：冬期の定植、6～7月収穫では、元肥1回の施用で肥効が持続します。

初夏どりの白ネギでは定植時から収穫期まで肥効が持続するよう施肥することが必要です。

白ネギ用366は元肥1回の施用で、収穫期までネギの生育に適した穏やかな肥効が切れ目なく持続します。

白ネギ用366の肥効イメージ（9月初旬追肥～秋冬どり、12月初旬元肥～初夏どり）



施用量・施用方法

作型	現物施用量 (10aあたり)	施用窒素量 (10aあたり)	施用方法 土壌改良材は従来通り施用してください
秋冬どりネギ【12～2月収穫】 8～9月 追肥型	45～80kg	10.35～18.4kg	土寄せ前に畝間に施用
初夏どりネギ【6～7月収穫】 秋冬定植 元肥一発	100～130kg	23～29.9kg	定植前に全量を全層混和で施用